



可部地区社会福祉協議会だより

福祉あけぼの

120号

編集発行
可部地区社会福祉協議会
広報部会

印刷所 可部印刷(株)



午後に登場した風呂 哲州さんのギター漫談「歌と笑いと健康と」。朗々とした歌声に、楽しいトークで、大いに盛り上がりました。



団塊世代の男性の老後の特徴についてや、「肉を食べる」と、要所所で力説され、場内は爆笑に包まれました。

【団塊世代の男たち】

特徴1；田舎暮らしをしたがる。

特徴2；野菜づくりをしたがる。

特徴3；ソバを打ちたがる。

「可部近所福祉クリエイター」酒井保先生の午前の講演「活き生き元気！健康長寿5つの秘訣」で、
①社会とつながりを保つこと
②運動
③肉料理を食べる
④存在を認める
⑤役割を評価する
の5つの秘訣について、楽しく、わかりやすくお話しいただきました。

毎年恒例の一人暮らし高齢者の会「ひまわりの会」の可部学区全体会が、可部地区社会福祉協議会と広島市三入・可部包括支援センターの共催で、平成28年7月10日(日)、総合福祉センター16階大会議室で行われました。

参加者は192名、年々増える参加者に、大会議室はいっぱいになりました。今後も増える予想される地域の一人暮らしの高齢者が、いつまでも生き生きと可部の街で暮らしていただけるよう、また、地域とのつながりを保ち続けられるよう、「ひまわりの会」の役割は、年を追うごとに大きくなっていきます。

平成28年「ひまわりの会」開催 192人が元気な顔で集いました。



可部地区社協は地域のさまざまな団体が所属し活動しています。そんな各種団体をシリーズでご紹介します。

第2回 可部学区自主防災会連合会



天野 正美会長
二年前の土砂災害で、避難所の開設運営など奔走されました。現場を知る頼もしい会長です。

可部学区自主防災会連合会は、平成10年に結成され、可部小学校区内の自治会・町内会等の単位自主防災会をもって組織し、平成28年5月現在、41自主防災会・世帯数3,504世帯で運営されています。結成以来17年が経過しました。

41自主防災会から選出された23名の役員(女性3名・平均年齢は70歳前後)で構成され、多くの役員は、仕事を持ちながら、役員会・訓練・避難所の運営に携わっています。

私達は、常に「災害は忘れたころにやってくるという」(寺田寅彦)ことを忘れず、本会の目的を達成するために

- ◎自助(自分の身は自分で守る)
- ◎共助(みんなで力を合わせて助け合う)
- ◎公助(国、自治体が支援する)の3助に基づいて、防災広報・災害発生時における救急活動・支援活

動・各種訓練・防災知識習得等の活動を行っています。

平成26年8月20日未明の豪雨災害から2年経過しました。尊い生命や貴重な財産等が一瞬のうちに失われました。その教訓に基づいて平成27年9月27日には炊き出し等の大規模な土砂災害訓練を生活避難場所である「可部小学校」で実施し、訓練参加者は470名でした。

平成28年6月26日には、地震を想定した防災訓練を「可部小学校」で実施し、インフラ(道路・電気・水道・電話等)関係が全て遮断されたという想定で、訓練参加者は266名でした。訓練に対して、関係諸機関・団体等にもご支援・ご協力をいただきました。両訓練とも、高齢者・女性の参加者が多く、若い世代の参加が少ないため、防災意識を高める事が今後の課題です。

広島市では、防災士の資格取得を進めています。ぜひ多くの方に防災士となっていたいただき、防災意識を高めていただきたいと思います。

また、自主防災会では、地域の危険箇所を把握する「わがまち防災マップ」を作成する予定です。皆様のご支援ご協力をよろしくお願い致します。

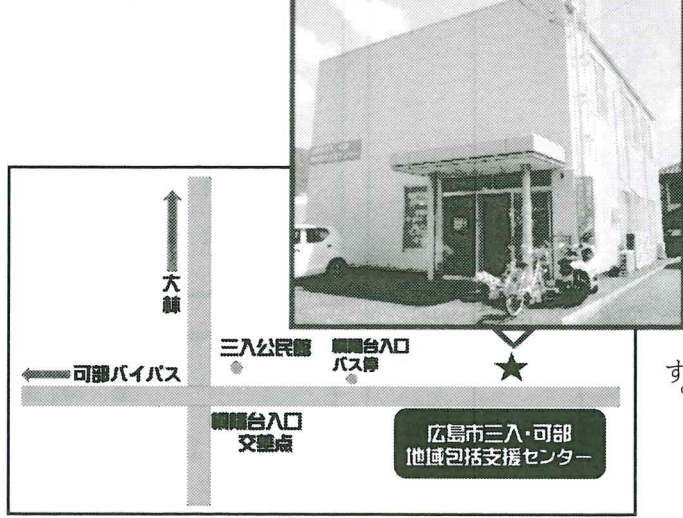


私たちの老後を支える最初の窓口

「広島市三入・可部地域包括支援センター」
何はなくとも、まず相談してください。

介護保険の利用の際、まず、いの一歩に相談に行く所、それが「地域包括支援センター」です。

可部学区では、「広島市三入・可部地域包括支援センター」で、昨年、緑が丘から三入へ移転しました。可部からは少し遠くなりましたが、電話すればご自宅に訪問して相談にのってくれます。



広島市三入・可部地域包括支援センターのスタッフのみなさん。
「サービスの利用についてや、まだまだ知られていないことが沢山あります。啓発活動をこれまで以上にしていきたいと思っておりますので、説明会や研修会にぜひご参加ください。もちろん呼んでいただければ、どんどん伺います。」と、井田浩美センター長。(向かって左から2人目)

●介護保険の入り口
介護保険。私たちの老後を守る最後の砦です。「広島市三入・可部地域包括支援センター」は、その介護保険利用の入り口として、ケアマネージャー、看護師、保健師、社会福祉士の専門職11名の体勢で、様々な相談に応じています。介護に関する相談や心配事はもちろん、健康や福祉、医療や生活に関することなどの支援も行います。高齢になっても、住み慣れた地域で安心して生活して行きたいのは、私たちみんなの願いです。介護保険や、行政のサービス、ボランティアの支援、様々な相談にのります。

2025年、団塊の世代が75歳以上になるのを見据えて、介護保険が今後どのように変わっていくのか、それを利用する私たちは、よりよいケアを求めているのか、じっくりと見守っていく必要があると思えます。

現在、多くの高齢者が利用している介護保険サービスですが、そのサービスの一部を、地域住民等の多様な主体に担ってもらおう計画が進み始めました。看護師やヘルパーなどの専門職でなくてもできる、日常の生活支援は、地区社協、町内会・自治会、NPO法人などで行うというものです。具体的な動きについてはまだまだ確定的ではありませんが、これまで「要支援」と認定されていた人のサービスを地域住民等が担うことにもなるかもしれません。

広島市三入・可部地域包括支援センター
広島市安佐北区三入5丁目16-31
☎ 082-516-6611
FAX 082-516-6681
受付 月～金 8:30～17:15(祝日・年末年始除く)

●社協よりお知らせ 救急医療情報キット配布!

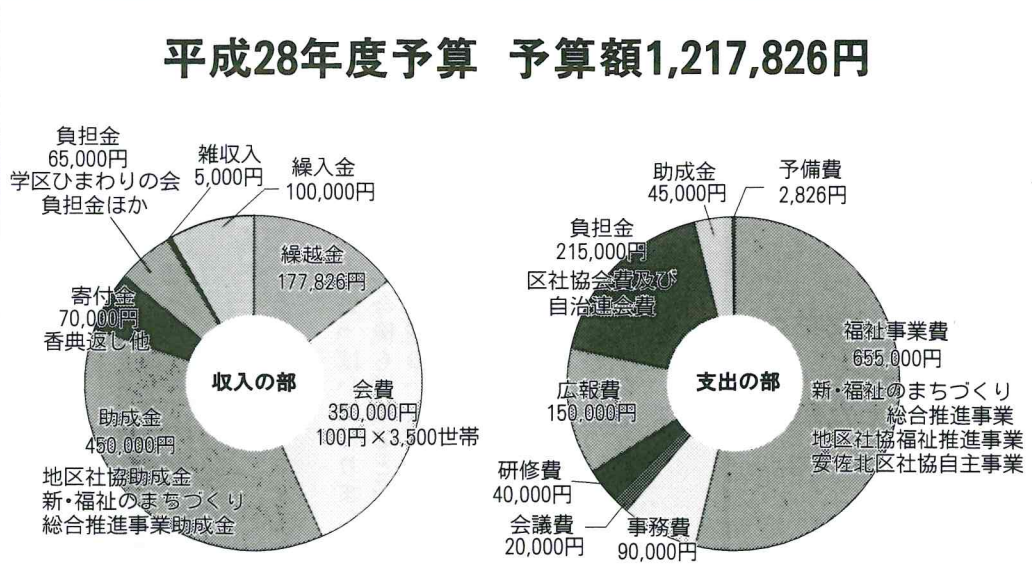
救急車を呼んだ時や緊急時、飲んでる薬や、かかりつけ医院、持病の情報などをシートに記入し、迅速に対応してもらうための「救急医療情報キット」を希望する方に配布しています。地域の福祉委員さんにご連絡いただくと、可笑屋でも申し込みできます。



1組150円(ボトル、カード、ステッカー)キットをお持ちの方も、情報シートが古くなっていますか。新しい用紙をお配りします。福祉委員さんへお知らせください。

平成28年度
可部地区社会福祉協議会役員

会長	勝岡 勝也
副会長	梶川 暢之
副会長	辻 英明
副会長	水場 信夫
副会長	和木坂 恵美子
副会長	山口 礼子
地域福祉推進委員	上森 厚子
事務局長	叶谷 史郎
会計	長船 賢太郎
会計監査	中村 克杜
会計監査	中本 幸杜



平成28年度可部地区社協事業計画
平成28年5月22日(日)、可部地区社会福祉協議会の総会が開催され、決算報告、予算、事業計画などが承認されました。事業計画では、引き続き「福祉のまちづくりプラン」に沿って、①孤独死対策、②買い物・弱者への対応、③災害時の避難誘導体勢について、各町内会・自治会ごとに、取り組み目標を決めて取り組んでいただくよう、ご協力をお願いします。

ボランティアバンク りんりん可部

りんりん可部では、日常のちょっとしたお困りごとのお手伝いをいたします。お気軽にご相談ください。

●ボランティア援助のお問い合わせ
ボランティア希望登録のお申込み
りんりん可部事務局
☎ 082-847-5509
FAX 082-815-0756
住所 広島市安佐北区可部 3丁目34-1
可笑屋(かわらや)2階
受付 毎週火曜日、木曜日
10:00~12:00
13:00~15:00
祝日、盆休み、年末年始を除く

おくやみ

次の方々に香料をお供えし、
謹んでお悔み申し上げます。

(平成28年3月1日～平成28年8月25日現在)

- 河野 昌子 様 可部9丁目 (九品寺)
- 迎川 新市 様 可部9丁目 (九品寺)
- 馬場 チヨ子様 可部3丁目 (二丁目)
- 荒川 弘之 様 可部9丁目 (九品寺)
- 濱尾 良二 様 可部8丁目 (城表)
- 竹本 高清 様 可部3丁目 (下之町)
- 中楨 信子 様 可部2丁目 (可部駅前)
- 木村 仁 様 可部6丁目 (上中四区)
- 松田 幸三郎様 可部3丁目 (上市)
- 川本 スエ子様 可部9丁目 (九品寺)
- 金川 千束 様 可部9丁目 (九品寺)
- 宮本 美弘 様 可部東6丁目 (新建)

真心に感謝

次の方々より心のこもった浄財を
いただき、感謝を申し上げます。

(平成28年3月1日～平成28年8月25日現在)

「香典返しに代えて」

該当者なし

「一般の寄付」

- 勝圓寺仏教婦人会 可部3丁目 (慶安)
- 山中 あけみ 様 可部5丁目 (上中二区)
- 久保河内 るみ子 様 可部6丁目 (緑ヶ丘三区)

皆様へのお願い

可部地区社協は、「弔事規定」により、
香典返しの生活改善運動の推進と新たな財
源探しに務めております。

平成六年より、地区住民の弔事に際して、
可部地区社協より香料二〇〇〇円をお供え
し、哀悼の意を表わしております。実施に
当っては、町内(自治)会長様に香典を立替
えていただき、領収書と会葬礼状をもって
会計宅にご請求いただくことになっておりま
す。

皆様へのお願いと致しまして、生活改善
運動として、香典返しに代えてのご寄付を
可部地区社協まで宜しくお願い致します。
寄付金は可部地区社協会長宅に持参いた
だくか、連絡をいただければお伺い致します。

編集後記

黒田 正

雨が少なく、庭の草花の葉っぱも変色するような今年のこの猛暑。人間にとって、特に高齢者にとっては、体調を崩しかねないと感じます。もしそうなった場合でも、遠慮なく近くの人に助けを求めましょう。

一川初子

この度、広島市三入・可部地域包括支援センターの取材に行かせてもらい、場所の確認と職員さんの対応で何でも気軽に相談できると思いました。

私にとってまだまだお世話になることはないだろうと思っていたが、身近に感じる事が出来ました。

仁井美智子

リオから東京へ。次に繋がる結果を得て無事終了のオリンピック。

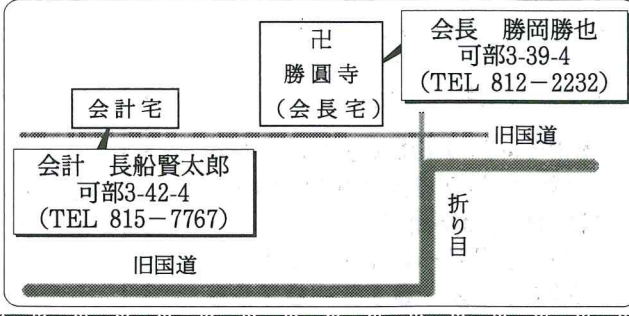
私は、体操日本選手を手本に足を開き上半身を床につけようと前傾姿勢を取るものの、体中ボキボキ。

「広島市三入・可部地域包括支援センター」への訪問。いつまでも自立した生活が送れる様、固い体がほぐれる様、心から頼れるセンターの存在に気持ちはほぐれました。

田川貴志子

高齢者のサロンで、「これから音頭」という歌を歌っています。♪喜寿も米寿も白寿も無事に越えてみせるのこの意気♪というところが特に気に入っています。せっかくの長寿時代、頑張っていこうという応援歌ですね。

今年度も編集人以上 4名と香川和子を加えて
5人で頑張ります。
よろしく願い致します。



「あけぼの」バックナンバーを探しています

地区社協では、「あけぼの」のバック
ナンバーを探しています。

1号～41号、44号、45号、50号、52号、
61号～64号、69号、70号、75号、76号、
92号、103号です。

皆様のご協力をお願いいたします。
連絡先 りんりん可部

